

平成24年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成23年11月2日

上場会社名 日本製粉株式会社

上場取引所 東大札

コード番号 2001 URL http://www.nippn.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)澤田 浩

問合せ先責任者(役職名)広報部長 (氏名)満生 潔 TEL 03-3350-3900

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	132,460	6.3	5,007	△9.0	5,367	△6.6	3,072	△2.6
23年3月期第2四半期	124,658	△7.3	5,500	Δ11.1	5,744	△11.5	3,153	△14.3

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 1,918百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △245百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.42	_
23年3月期第2四半期	18.87	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	196,118	101,089	50.5
23年3月期	194,365	100,016	50.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 98,956百万円 23年3月期 97,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円 銭	円銭	円銭	円 銭			
23年3月期	_	5.00	_	5.00	10.00			
24年3月期	_	5.00						
24年3月期(予想)			_	5.00	10.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	271,000	7.5	11,000	4.1	11,000	1.6	6,300	4.6	37.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	174,148,018 株	23年3月期	174,148,018 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,327,150 株	23年3月期	7,024,080 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	166,821,936 株	23年3月期2Q	167,132,277 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく 四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1	L. 当四半期決算に関する定性的情報	
	(1)連結経営成績に関する定性的情報	;
	(2)連結財政状態に関する定性的情報	
	(3)連結業績予想に関する定性的情報	
2	2. サマリー情報(その他)に関する事項	
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	
3	3. 四半期連結財務諸表	
	(1)四半期連結貸借対照表	
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
	四半期連結損益計算書	
	四半期連結包括利益計算書	
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	;
	(4)継続企業の前提に関する注記	10
	(5) セグメント情報等	10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、 短期的には企業の生産活動の低下や、自粛ムードからの個人消費の停滞が見られ、さらには電力供 給の制約、急激な円高の進行等の厳しい環境もありましたが、緩やかな持ち直しの兆しをみせなが ら推移いたしました。

食品業界においては、深刻な経済情勢下で消費者の節約・低価格志向が続き、販売競争が一層激化するなど厳しい事業環境が続きました。

このような状況の下で、9月に創立115周年を迎えた当社グループは更なる業容の拡大と収益力の強化を図り、持続的成長を確かなものとするため「10/11中期経営計画SG130」に全力を挙げて取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,324億6千万円(前年同期比106.3%)、 営業利益50億7百万円(同91.0%)、経常利益53億6千7百万円(同93.4%)、四半期純利益30億 7千2百万円(同97.4%)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①製粉事業

本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で18%引き上げられたことに伴い、小麦粉販売価格の改定を行ないました。

当社グループは、フランス産小麦100%使用の小麦粉「メルベイユ」など、お客様のニーズに合わせた商品提案や、技術講習会の開催など活発な営業活動を推進した結果、小麦粉の出荷は前年同期を上回りました。

副製品のふすまについては、穀物相場下落の影響により売上は前年同期を下回りました。

以上により、製粉事業の売上高は489億2千9百万円(前年同期比106.2%)、営業利益は22億5千7百万円(同88.8%)となりました。

②食品事業

食品事業は、健康・安全・簡便性・お客様のニーズ等をコンセプトとした特長のある新商品を開発するとともに、アジア地区最大規模の製パン・製菓見本市「Bakery China 2011」等、各種展示会への出展など積極的なマーケティング活動を展開しました。

家庭用では、新ブランド「オーマイプレミアム」のシリーズ発売や、「キッチンの不満解消」と「お客様ニーズ」をキーワードに開発した、新商品類の販売が好調に推移した結果、小袋、天ぷら粉、パスタソース等の販売が好調で数量・売上ともに前年同期を上回りました。

業務用では主に、パスタ関連製品、プレミックス類の販売が好調に推移し、数量・売上ともに前年同期を上回りました。

冷凍食品類は、家庭用での高級パスタ「オーマイプレミアム」の新商品や、大盛り「Bigシリーズ」の新商品の販売が好調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

中食関連商品の売上は前年同期を下回りました。

以上により、食品事業の売上高は699億1千2百万円(前年同期比107.7%)、営業利益は26億5千6百万円(同85.8%)となりました。

③その他事業

ペットフード事業の売上は前年同期を上回りましたが、健康食品事業、エンジニアリング事業の売上は前年同期を下回りました。

以上により、その他事業の売上高は136億1千7百万円(前年同期比99.6%)、営業利益は1億4 千2百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ17億5千3百万円増加し、1,961億1千8百万円となりました。この主な要因は、棚卸資産が90億6千7百万円、有形固定資産が28億6千5百万円増加したこと、現金及び預金が92億7千1百万円、投資有価証券が13億3千1百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6億8千万円増加し、950億2千8百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が16億3千1百万円、流動負債その他が27億4千9百万円増加したこと、災害損失引当金が3億1千4百万円、借入金が31億2千万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ10億7千2百万円増加し、1,010億8千9百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が22億3千6百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が9億8千8百万円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ92億7千5百万円減少し、126億8千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億4千4百万円の支出となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益52億3千8百万円、減価償却費34億4百万円の資金増加がありましたが、棚卸資産が90億5千7百万円増加したこと、法人税等の支払により17億2千7百万円の支出があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、55億6千1百万円の支出となりました。この主な要因は、設備投資で56億5千5百万円支出したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済及び配当金の支払い等により、20億5千3 百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	22, 006	12, 735	
受取手形及び売掛金	32, 359	32, 961	
有価証券	12	101	
商品及び製品	10, 393	12, 251	
仕掛品	112	107	
原材料及び貯蔵品	11, 178	18, 392	
その他	4, 096	3, 987	
貸倒引当金	△151	△121	
流動資産合計	80, 007	80, 415	
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	24, 593	25, 500	
機械装置及び運搬具(純額)	16, 114	16, 225	
土地	25, 256	25, 392	
建設仮勘定	2, 504	3, 998	
その他(純額)	1,769	1, 989	
有形固定資産合計	70, 239	73, 105	
無形固定資産			
のれん	1, 246	1, 106	
その他	633	725	
無形固定資産合計	1,879	1,831	
投資その他の資産			
投資有価証券	36, 035	34, 703	
その他	6, 904	6, 745	
貸倒引当金	△700	△683	
投資その他の資産合計	42, 238	40, 765	
固定資産合計	114, 357	115, 702	
資産合計	194, 365	196, 118	

	(単位:百万円) 前連結会計年度 当第2四半期連結会計期間						
	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)					
負債の部							
流動負債							
支払手形及び買掛金	22, 370	24, 00					
短期借入金	26, 983	18, 87					
未払法人税等	1, 903	2, 41					
賞与引当金	439	44					
役員賞与引当金	37	_					
災害損失引当金	516	20					
その他	11, 174	13, 92					
流動負債合計	63, 425	59, 86					
固定負債							
長期借入金	17, 462	22, 45					
退職給付引当金	2, 500	2, 23					
役員退職慰労引当金	977	96					
その他	9, 981	9, 51					
固定負債合計	30, 922	35, 15					
負債合計	94, 348	95, 02					
純資産の部							
株主資本							
資本金	12, 240	12, 24					
資本剰余金	11, 391	11, 39					
利益剰余金	68, 906	71, 14					
自己株式	$\triangle 2,313$	△2, 31					
株主資本合計	90, 224	92, 46					
その他の包括利益累計額							
その他有価証券評価差額金	7, 699	6, 71					
繰延ヘッジ損益	8	\triangle					
為替換算調整勘定	△155	△20					
その他の包括利益累計額合計	7, 551	6, 49					
少数株主持分	2,240	2, 13					
純資産合計	100, 016	101, 08					
, 923, H H I	100,010	101,00					

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円) 前第2四半期連結累計期間 当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日 (自 平成23年4月1日 平成22年9月30日) 平成23年9月30日) 至 至 売上高 124,658 132, 460 売上原価 91,509 98, 359 売上総利益 33, 149 34, 100 販売費及び一般管理費 27,648 29, 092 5,007 営業利益 5,500 営業外収益 受取利息 19 14 受取配当金 470 480 その他 296 412 営業外収益合計 786 907 営業外費用 支払利息 312 307 為替差損 144 75 その他 85 164 営業外費用合計 542 548 経常利益 5,744 5, 367 特別利益 投資有価証券売却益 402 400 固定資産売却益 8 40 貸倒引当金戻入額 63 その他 54 特別利益合計 527 442 特別損失 投資有価証券評価損 291 1 固定資産除売却損 93 56 減損損失 111 事業構造改善費用 132 126 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 106 工場集約関連費用 173 災害による損失 72 その他 54 28 特別損失合計 677 571 税金等調整前四半期純利益 5,594 5, 238 法人税、住民税及び事業税 2,521 2, 334 法人税等調整額 $\triangle 27$ $\triangle 59$ 法人税等合計 2,494 2, 275 少数株主損益調整前四半期純利益 3,099 2,963 少数株主損失 (△) △108 $\triangle 54$ 四半期純利益 3, 153 3,072

(四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

		(¥4 Z ZE)
		(単位:百万円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3, 099	2, 963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3, 312	△983
繰延へッジ損益	$\triangle 5$	$\triangle 17$
為替換算調整勘定	△20	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	$\triangle 7$	$\triangle 6$
その他の包括利益合計	△3, 345	△1, 044
四半期包括利益	△245	1, 918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177	2, 016
少数株主に係る四半期包括利益	△68	$\triangle 97$

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円) 前第2四半期連結累計期間 当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 (自 平成23年4月1日 至 平成22年9月30日) 至 平成23年9月30日) 営業活動によるキャッシュ・フロー 税金等調整前四半期純利益 5, 594 5, 238 減価償却費 3, 169 3, 404 のれん償却額 $\triangle 3$ 140 貸倒引当金の増減額(△は減少) $\triangle 38$ $\triangle 36$ 減損損失 111 事業構造改善費用 132 126 災害損失 72 受取利息及び受取配当金 $\triangle 489$ $\triangle 494$ 支払利息 307 312 投資有価証券売却損益 (△は益) $\triangle 412$ $\triangle 409$ 投資有価証券評価損益 (△は益) 291 1 持分法による投資損益 (△は益) $\triangle 22$ △89 為替差損益 (△は益) 73 19 有形固定資産売却損益(△は益) 21 $\triangle 37$ 固定資産除却損 63 56 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 106 売上債権の増減額(△は増加) 1,341 $\triangle 614$ たな卸資産の増減額 (△は増加) △6, 362 $\triangle 9,057$ 仕入債務の増減額(△は減少) 7,652 1,662 その他 $\triangle 1,529$ $\triangle 489$ 小計 9,899 $\triangle 87$ 利息及び配当金の受取額 528 505 利息の支払額 △312 $\triangle 335$ 法人税等の支払額 $\triangle 2,491$ $\triangle 1,727$ 営業活動によるキャッシュ・フロー 7,623 $\triangle 1,644$ 投資活動によるキャッシュ・フロー 投資有価証券の取得による支出 $\triangle 211$ $\triangle 218$ 投資有価証券の売却による収入 800 596 関係会社株式の取得による支出 $\triangle 335$ 有形固定資産の取得による支出 $\triangle 2,255$ $\triangle 5,655$ 固定資産の除却による支出 $\triangle 49$ $\triangle 70$ 有形固定資産の売却による収入 149 63 貸付けによる支出 $\triangle 11$ $\triangle 34$ 貸付金の回収による収入 21 39 その他 $\triangle 54$ 54 △1,610 投資活動によるキャッシュ・フロー $\triangle 5,561$

(単位:百万円)

		(単位・日ガロ)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△183	△944
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	_	2,000
長期借入れによる収入	1, 330	5, 290
長期借入金の返済による支出	$\triangle 1,607$	△7, 461
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	$\triangle 0$
自己株式の売却による収入	_	0
リース債務の返済による支出	△77	△92
配当金の支払額	△1,003	△835
少数株主への配当金の支払額	△12	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,555	△2, 053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4, 445	△9, 275
現金及び現金同等物の期首残高	14, 283	21, 956
現金及び現金同等物の四半期末残高	18, 728	12, 681

(4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	幸	岩セグメン	 	その他		調整額	四半期連結 損益計算書
	製粉事業	食品事業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	46, 067	64, 919	110, 986	13, 672	124, 658	_	124, 658
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1, 050	353	1, 404	790	2, 194	△2, 194	_
計	47, 117	65, 272	112, 390	14, 463	126, 853	△2, 194	124, 658
セグメント利益又は 損失 (△)	2, 542	3, 098	5, 640	△156	5, 484	15	5, 500

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。
 - 2 セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	_	調整額	四半期連結 損益計算書
	製粉事業	食品事業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	48, 929	69, 912	118, 842	13, 617	132, 460	_	132, 460
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1, 122	661	1, 784	1, 833	3, 617	△3, 617	_
計	50, 052	70, 574	120, 626	15, 451	136, 078	△3, 617	132, 460
セグメント利益又は 損失 (△)	2, 257	2, 656	4, 914	142	5, 057	△49	5, 007

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品 類、エンジニアリング等を含んでおります。
 - 2 セグメント利益の調整額△49百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。